

# 青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

## 令和7年も残りあと少し！

前回の通信から二ヶ月以上が過ぎました。この間には文化学習発表会、働く人プロジェクト、研究発表会と大きな行事が目白押しで「学問の秋」らしい期間でした。

先日は生徒会長選挙が行われ各候補者・応援演説者とともに素晴らしい演説で本人大きな思いを感じました。生徒会員である皆さんも真剣に耳を傾け、積極的に質疑を行いました。選挙管理委員会の運営も素晴らしく最後まで滞りなく取り組みました。

新生徒会長に選ばれた、田中和花さんを始め二年生の新しい生徒会メンバーが三年生からバトンを引き継ぎ、伝統ある青嶺中学校を期待しています。自分たちの生活をより良くするためにどうするべきか、共に考えていきましょう。

## 「情報」に向き合う

先日の研究発表会で、元アナウンサーの下村健一先生が来校され、これまでリモートで授業をしていた三年生と初めて実際に会い、対面で授業をして下さいました。

情報に惑わされないための構えや「逆検索」という手立てを教えてくださいました。どのような道筋を辿り、何を確認すれば事実なのか、またたかのたらめなのか、或いは事実の可能性があるのかを判断できるということでした。

黒川小学校での講演会では、「まだわからないよね」と踏みどまることで暴走を防ぐことも話され、対話することが相手や自分を理解しようとして互いを大切にする元となると語られました。

数年前に新型コロナウイルスが大流行した時、社会全体が疑心暗鬼となり、恐怖にかられた人々は根拠のない噂やデマに流れ、非常に攻撃的で排他的になりました。自分の都合の良い情報を選び、全く疑うことなく信じたいように信じ、更新する

④ 「何が隠れているかな？」  
 ③ 「別の見方はないかな？」  
 ② 「事実かな？印象かな？」  
 ① 「まだわからないよね」

そこからまた初めの「まだわからないよね」に戻るのです。この四つのスイッチで正しい「情報のキヤッチボールができる社会」を実現し、「大きな景色を眺める楽しさ」を味わってほしいという願いを、下村先生は子ども達へのメッセージとして色紙にしたためて下さいました。子どもも大人も正しく情報に向き合い、そして冷静に判断

しなく他者を攻撃する時期でした。人間の心はこんなに弱いものなのかもこれまで何を学んできたのかと悲しくなるとともに、情報との向き合い方を改めて考え「自分ならどうするか」を繰り返し考えました。テレビを見ていた下村先生はいち早く情

報リテラシーの重要さに気付いて、情報との向き合い方を長年各方面で伝える活動をされています。

情報リテラシーと対話は両方とも想像力を働かせ、考えを固定せず、決めつけない姿勢をもつことが重要です。価値や考え方を違う人や事柄を粘り強く分かろうとするために行います。スイッチを活用します。

努力した人ならば、残念ながら現時点では目標は達成できないが修正することです。これも、努力を重ねたうえでの変更と「何もない」今までの変更では大きく異なります。

それに対して自分は「何もしない」で目標を下げた人はこれから一度しかない人生で悔いを残さないよう、「偶然」や「まぐれ」に頼らなくていいように、「才能・能力×努力の総量」のうちの「努力の総量」を増やしていきたいですね。

## 校長室より

この秋は出張が多く、文化学習発表会には残念ながら参加できませんでした。生徒の前でつくばに研修に行くことを話し、勉強を精一杯頑張って来るからみんなも精一杯楽しんでほしいと伝えたら、大きな拍手をもらいました。胸が熱くなりました。(一週間の研修中もおかげで頑張れました)、当日は遠くにいても成功を願っていました。生徒会が企画した「校長先生をさがせ」も盛り上がったと聞き、本当に嬉しく思いました。生徒達に心から感謝しています。

たとしてもそれは「偶然」や「まれ」で同じことは続きません。自分が何も変わっていないで努力をしても、情報との向き合い方を改めて考え「自分ならどうするか」を繰り返し考えました。今後とも下村先生と一緒に攻撃するようになります。「賭け」で勝つても本当の自信はもてませんし、いつか必ず負けます。これまで偉そうに書きましたが私自身も努力から逃げた時期もありました。そしてその時のことを思い返すと苦い思いがありますし、その頃の自分は好きではありません。それが頑張らず逃げていることを自分が一番分かっているからです。そんな思いを二度と味わいたくない、後悔はしたくないと、自分の人生で「挑戦」を続けるために目標を掲げて、出来うる限りの努力を続けたいと思っています。

これまで偉そうに書きましたが、自身も努力から逃げた時期もありました。そしてその時のことを思い返すと苦い思いがありますし、その頃の自分は好きではありません。それが頑張らず逃げていることを自分が一番分かっているからです。そんな思いを二度と味わいたくない、後悔はしたくないと、自分の人生で「挑戦」を続けるために目標を掲げて、出来うる限りの努力を続けたいと思っています。

一度しかない人生で悔いを残さないよう、「偶然」や「まぐれ」に頼らなくていいように、「才能・能力×努力の総量」のうちの「努力の総量」を増やしていきたいですね。

「挑戦」と「賭け」の違いは明らかです。成功的な可能性を多く残し、失敗したとしても自分の中に財産が残るような取り組みが「挑戦」です。あとから思い返してもあれば頑張れたからこそ!と自分に自信が持てるようになります。「賭け」は成功する可能性はほとんどありません。もし成功し